

◆データヘルス計画とは

医療機関が作成するレセプト（診療報酬明細書）や健康診断データを活用し、効率的・効果的な保健事業の実施を図ることで、加入者の健康づくりや疾病予防、重症化予防を行い、医療費の抑制を目指す計画のこと。

計画を策定するようになった背景には、生活習慣病患者の増加、超高齢社会へ進展したことに伴う福祉サービス費・医療費の増加といった社会課題が挙げられる。

◇国分寺市第2期データヘルス計画について

国分寺市では、国民健康保険被保険者の「健康増進（健康寿命の延伸）」及び「医療費の適正化」のために「1. 生活習慣病の発症ならびに重症化予防」「2. 医療機関への早期受診・適正受診」を実現することを目的に、国分寺市第2期データヘルス計画として、平成30年度から令和5年度の6年間にわたる計画を策定している。

目的達成のための目標設定とその実施事業については以下の表のとおり。

目標1	特定健康診査受診率及び特定保健指導実施率の向上			
	実施事業	国分寺市特定健康診査等実施計画の策定とその実施		
目標2	特定健康診査有所見者の減少			
	実施事業	健康教育の実施：講座や市報等を利用して生活習慣病予防のための知識の啓発を図る		
		方策	(1)生活習慣病予防のための講座を開催	
			(2)市報等に健康に関する記事を掲載	
(3)若い世代を対象にした食育に関するリーフレットを配架				
目標3	適正受診に向けての啓発			
	実施事業	方策	(1)特定健康診査結果異常値放置者への受診勧奨	
			(2)重複受診者・重複服薬者への指導	
			(3)市報を通して適正受診・適正服薬への啓発	
目標4	ジェネリック医薬品の普及			
	実施事業	方策	(1)ジェネリック医薬品差額通知発送	
			(2)市報によるジェネリック医薬品啓発	

◇実施事業の評価について

実施事業については毎年、PDCA サイクルに沿った評価を行うとともに、中間評価を行い、計画の見直しや改善案を検討する。